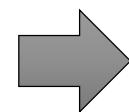


2. 精神障がい者の特徴と歴史

精神障がい者の特徴（疾患と障がい）

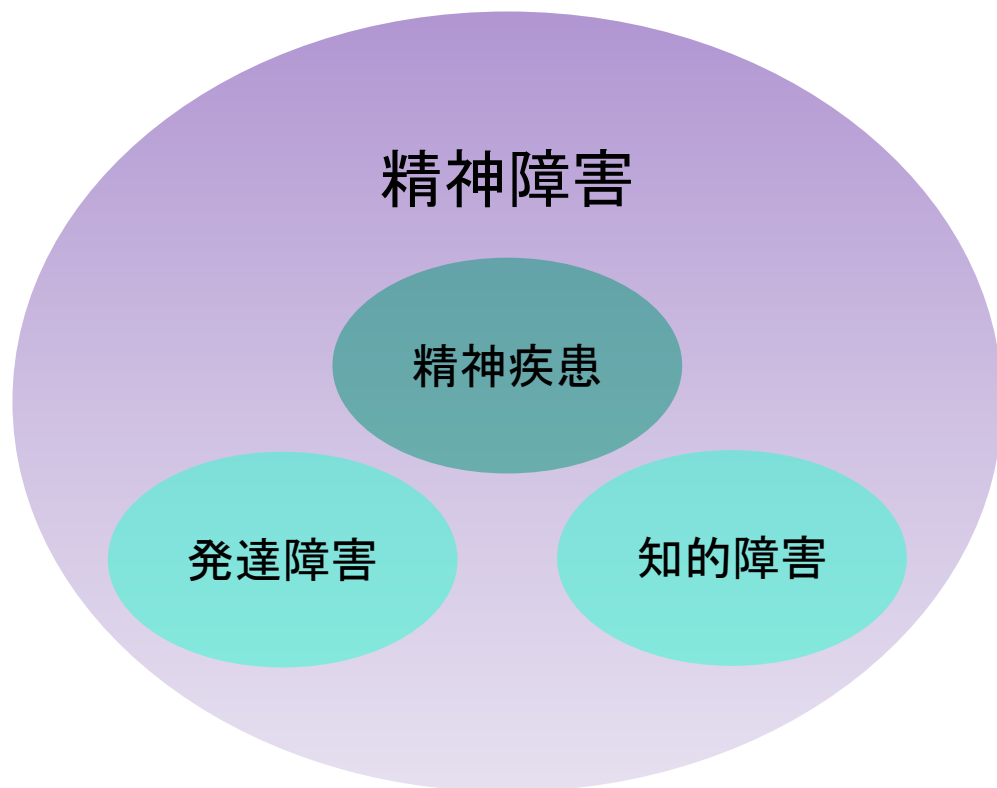
精神疾患

精神障がい

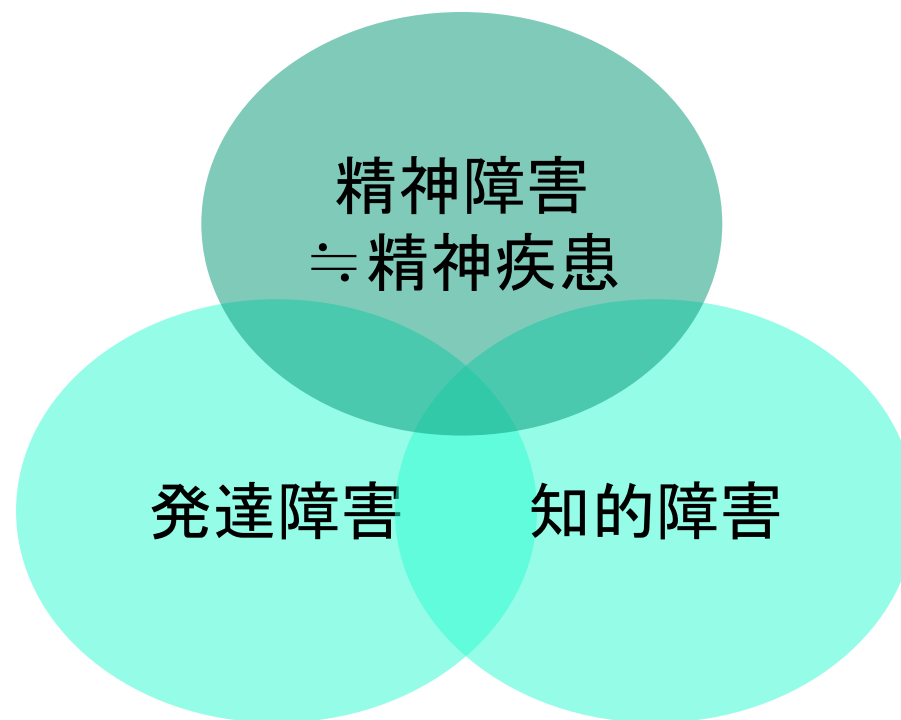


制度によって分類が異なる

国際的な診断基準



日本国内の法律上の区分け



精神障がい者の特徴（種類）

精神疾患の種類（代表的なもの）

統合失調症（旧・精神分裂病）

陽性症状：幻覚、妄想、幻聴、独語

陰性症状：感情の平板化、無為自閉

気分障害（うつ病・躁うつ病）

うつ病：気分の落ち込み、不眠

躁うつ病：気分高揚、多弁、浪費

依存症（アルコール・薬物など）

・コントロール障害（スリップ、否認）

・離脱症状 ・周囲への影響

認知症

・中核症状：記憶・見当識・遂行機能障害

・周辺症状（BPSD）：易怒性、幻視、妄想

発達障害・知的障害：精神症状、行動障害を伴うもの

脳の病気

精神障がい者の特徴

精神疾患（障がい）の特徴

身体面

- ・ 疲労、全身倦怠感
- ・ 動悸、めまい
- ・ 頭痛、不眠、食欲不振

心理面

- ・ 気分の落ち込み
- ・ 不安、緊張、落ち着かない、怒り
- ・ 幻聴

生活・行動面

- ・ 昼夜逆転、不規則な生活
- ・ ミスが増える、ぼんやりする
- ・ 自傷行為、引きこもり

社会面

- ・ 友達が減る（孤立する）
- ・ 役割を失う（社会的役割の喪失）
- ・ 生き甲斐が無くなる

精神障がい者の特徴

症状
(身体・心理)

後遺症
(生活・行動、社会)

日常生活に支障
(=障がい)

治療（回復）法

薬物療法

精神・心理
療法

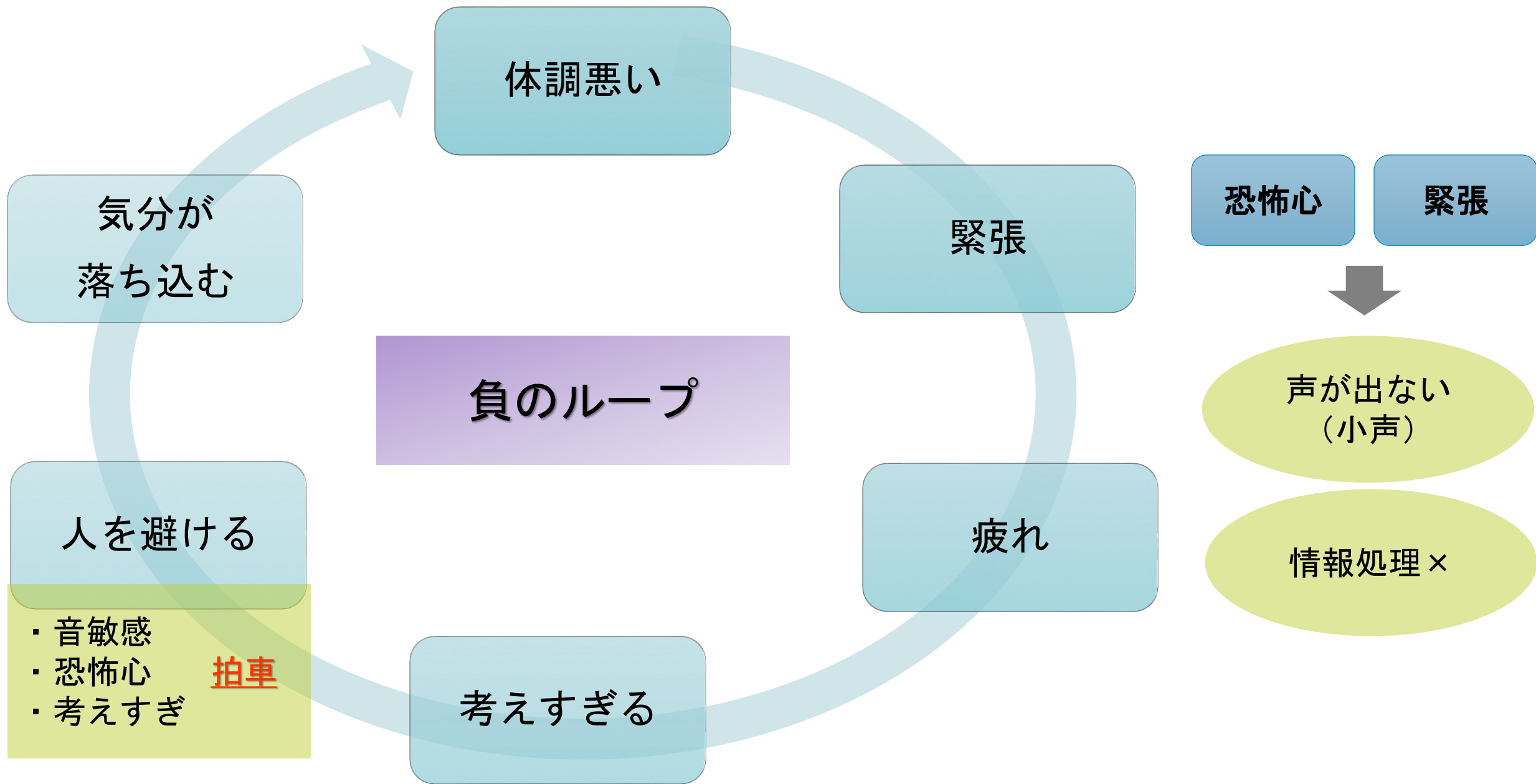
リハビリ

寛解を目指す
～一生付き合うもの～

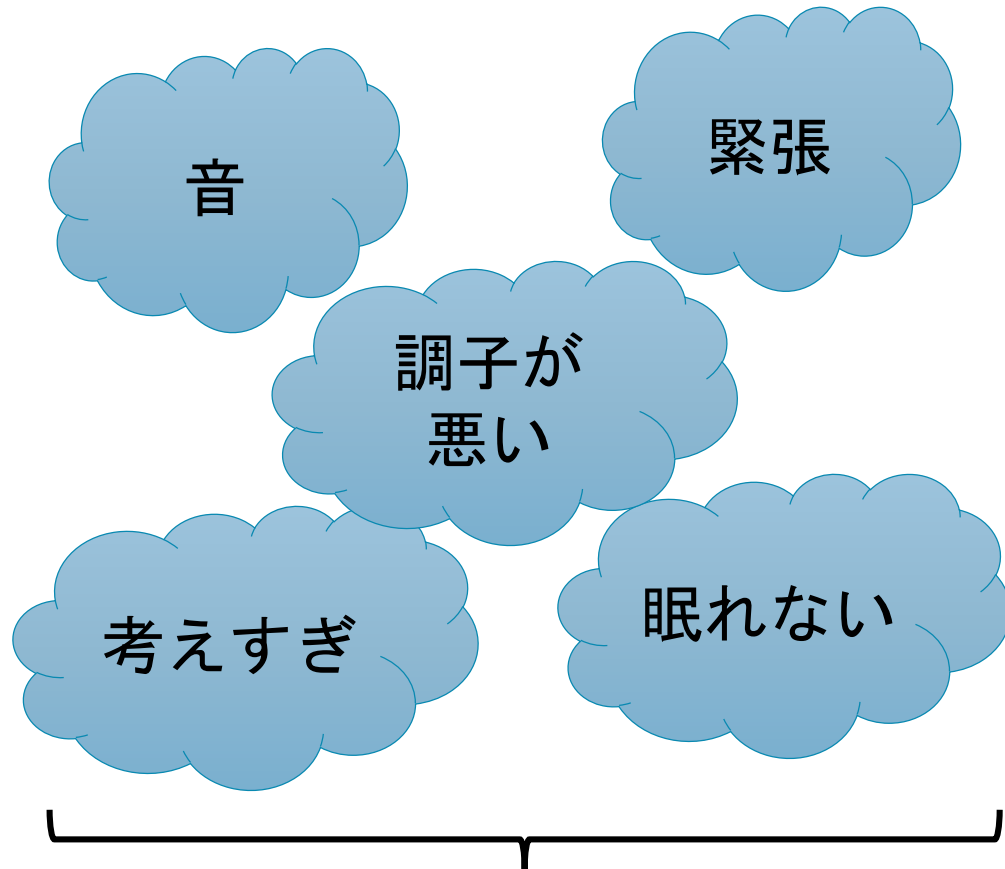
実際に困ってしまった場面①



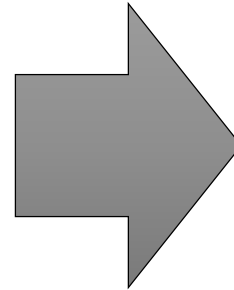
実際に困ってしまった場面②



精神障がい者の特徴（生活のしにくさ）



普段からあるものを
強く感じ取ってしまう



個人の責任

誤解

無理解

精神障がい者の『**歴史**』
も大きく影響！

精神障がい者の歴史

危険

国の成長
阻害

収容隔離政策（社会防衛）

- ・ 牢屋（私宅監置）や精神病院に隔離
- ⇒警察の取り締まる、行政機関が監視する。

地域生活中心（2004年～）

権利主体

地域の一員

しかし...

差別（隔離される存在）

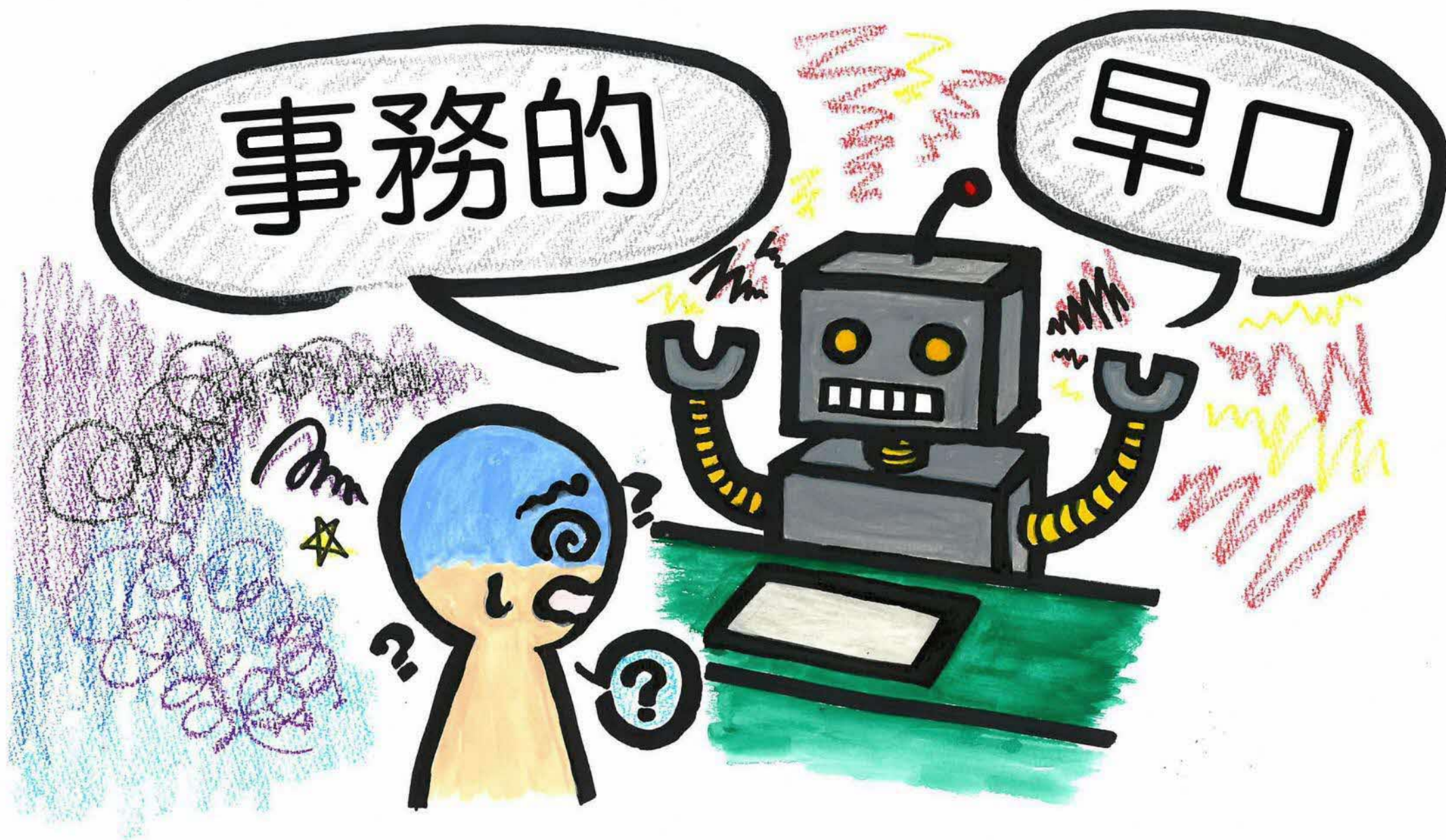
偏見（危険な存在）

という認識を生んだ！

実際に困ってしまった場面①



実際に困ってしまった場面②



精神障がい者の特徴と歴史（まとめ）

精神障がい（疾患）の特徴

誤解

無理解

精神障がい者の歴史

差別

偏見

正しく理解し、共に地域で
生活していくには…

当事者からの発信

当事者との交流

地域の中で
生きにくさが多い！

ピアサポーターの活動が重要！！